

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年02月27日

計画の名称	宮崎市道路ストック修繕計画（防災・安全）															
計画の期間	平成30年度 ～ 令和04年度（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	宮崎市															
計画の目標	宮崎市は平成の大合併により、市域面積が約287km ² から約645km ² に拡大するとともに、市道の総延長が約1,676kmから約2,700kmに増加した。また、新たな道路整備、宅地開発などにより、年々管理すべき道路が増加していく中、市民が道路に求めるニーズも多様化しており、計画的な修繕・更新を行うことで、新宮崎市の均衡ある発展と、災害に強い道路ネットワークを確保し、道路本来の機能や安全の確保を促進していく。															
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		193	A	193	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）			0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成29年度末	令和2年度末	令和4年度末
1	平成25年度に実施した路面性状調査の結果、ひび割れ等により、修繕が必要と判断された1級市道の路線に対して、実際に修繕に着手した路線の割合の向上。			
	平成25年度に実施した路面性状調査の結果、修繕が必要と判断された1級市道の路線において、修繕に着手した路線の割合を目標値に設定。 要対策路線の着手率＝（修繕着手済路線数／要対策路線数）×100	23%	33%	33%
2	令和元年度に実施した定期点検の結果、修繕・更新が必要と判断された施設について、実際に修繕・更新に着手した施設の割合の向上。			
	令和元年度に実施した定期点検の結果、修繕・更新が必要と判断される設備において、修繕・更新に着手した設備の割合を目標値に設定。 要対策設備の着手率＝（修繕・更新着手済設備数／要対策設備数）×100	0%	0%	40%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	
国土強靱化地域計画A8、A10、A11																

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	宮崎市	直接	宮崎市	市町村 道	計画調 査	路面下空洞調査計画	路面下空洞調査 L=45.0km	宮崎市						10		-
	A01-002	道路	一般	宮崎市	直接	宮崎市	市町村 道	修繕	（ 1 ）垂門久保線・2 工 区	舗装修繕 L=0.60km	宮崎市						52		策定済
	A01-003	道路	一般	宮崎市	直接	宮崎市	市町村 道	修繕	（ 1 ）学園通線・1 工区	舗装修繕 L=0.20km	宮崎市						10		策定済
	A01-004	道路	一般	宮崎市	直接	宮崎市	市町村 道	修繕	（ 1 ）学校通線・1 工区	舗装修繕 L=0.00km	宮崎市						0		策定済
	A01-005	道路	一般	宮崎市	直接	宮崎市	市町村 道	修繕	（ 1 ）青島通線・1 工区	舗装修繕 L=0.00km	宮崎市						0		策定済
	A01-006	道路	一般	宮崎市	直接	宮崎市	市町村 道	修繕	（ 1 ）村角山崎線・1 工 区	舗装修繕 L=0.00km	宮崎市						0		策定済

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-007	道路	一般	宮崎市	直接	宮崎市	市町村 道	修繕	（ １ ）平松線・１工区	舗装修繕 L=0.00km	宮崎市						0		策定済
	A01-008	道路	一般	宮崎市	直接	宮崎市	市町村 道	修繕	（ １ ）下江上畑線・１工 区	舗装修繕 L=1.29km	宮崎市						71		策定済
	A01-009	道路	一般	宮崎市	直接	宮崎市	市町村 道	修繕	（ １ ）横町古城線・１工 区	舗装修繕 L=0.00km	宮崎市						0		策定済
	A01-010	道路	一般	宮崎市	直接	宮崎市	市町村 道	修繕	（ １ ）池内大瀬町線・１ 工区	舗装修繕 L=1.30km	宮崎市						43		策定済
	A01-011	道路	一般	宮崎市	直接	宮崎市	市町村 道	修繕	（ １ ）下北方通線外3線・ 下北方排水機場外3箇所	道路排水施設修繕 N=4施設	宮崎市						7		策定済
										小計						193			
										合計						193			

事 後 評 価

事後評価の実施体制、実施時期	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">事後評価の実施体制</div> 担当課において、定量的指標の達成状況や事業効果の発現状況を検証する。 宮崎市社会資本総合整備計画評価委員会に意見を求め、客観的な意見を評価書に反映させる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">事後評価の実施時期</div> 令和6年2月 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">公表の方法</div> 宮崎市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	道路の安全性確保・長寿命化が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・舗装について、長寿命化修繕計画に基づき、引き続き計画的な修繕を行っていく。 ・道路排水設備について、長寿命化修繕計画に基づき、引き続き計画的な設備修繕を行っていく。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	要対策路線の着手率		
	最 終 目標値	33%	補正予算を活用しながら対策を進めることができたため。
	最 終 実績値	36%	
2	要対策設備の着手率		
	最 終 目標値	40%	詳細調査の結果、修繕が必要な設備が見つかり、前倒しでの修繕を行ったため。
	最 終 実績値	43%	